

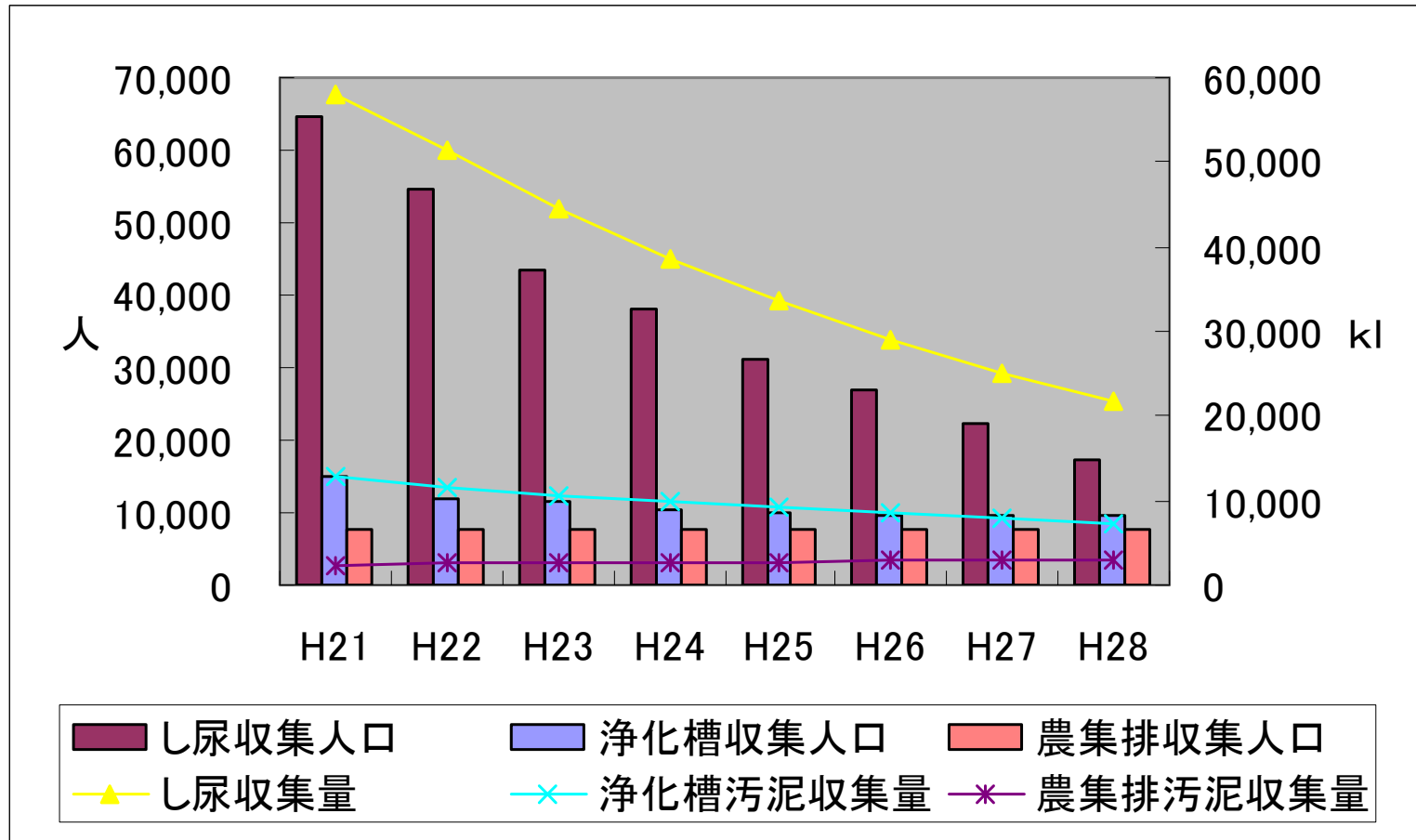
H25第1回審議会(H25/10/25)

資料 3

し尿処理手数料

収集量の推計

1



◆ H21～H24は実績値、H25以降は推計値

◆ 直近3カ年の前年比の平均値から推計

手数料改定の方角性①

収集量

手数料算定の対象⇒H26～H28

収集量の推計は直近3カ年実績の対前年比の平均値から算出。し尿は今後も減少が続くも、浄化槽汚泥と農集排汚泥は、ほぼ横ばいの見込み。⇒3年間の平均値を採用

収集量	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
し尿収集量	58,160	51,415	44,487	38,651	33,472	29,021	25,194	21,899
浄化槽汚泥収集量	12,938	11,536	10,583	9,934	9,111	8,410	7,820	7,330
農集排汚泥収集量	2,334	2,633	2,738	2,729	2,772	2,817	2,865	2,916
合計	73,432	65,584	57,808	51,314	45,355	40,248	35,879	32,145
	H26～H28平均値					36,091		

(kl)

- ◆収集量は各処理施設別の処理形態別収集量の合計。
- ◆H21～H24は実績値、H25以降は推計値。

手数料改定の方向性②

収集体制の確保

収集量減少に伴う収集車両の減車、人員削減も限界であること、また、大規模災害時を考慮し、当面、現在の車両台数を維持する。(合理化計画に伴う減車分を除く。)

(台)

地区	H24	H25	H26	H27	H28
A※	30	28	26	20	20
B	3	3	3	3	3
C	2	2	2	2	2
D	2	2	2	2	2
E	2	2	2	2	2
F	3	3	3	3	3
G	2	2	2	2	2
合計	44	42	40	34	34
H26～H28平均			36		

※第5次長野市合理化事業計画によりH24～H26に10台減車予定⇒し尿収集運搬車6台、予備車4台

し尿と浄化槽汚泥は処理工程が違い混入できないため最低2台は必要となる。

手数料改定の方角性③

前回の考え方 手数料の統一（過度期）

収集原価※

（1単位当たり収集経費）

=

大岡・信州新町・中条⇒旧長野

若穂⇒須高行政事務組合

豊野・戸隠・鬼無里⇒地区毎

収集量（単位）

（1単位36ℓ）

=

前年実績（3年間固定）

※収集原価＝収集経費÷収集量（単位）

手数料改定の方向性③

今回の考え方

手数料の統一

収集量の変動考慮

(事業者の手数料収入)

収集原価※

(1単位当たり収集経費)

=

長野市全体の収集原価

収集量(単位)

(1単位36ℓ)

=

H26～H28の平均

※収集原価 = 収集経費 ÷ 収集量(単位)

収集方法等の方向性

将来の方向性

収集量の変動を考慮し、安定した収集方法とするため、課題を整理し検討を進める。

許可地区

⇒ 委託制への移行

委託地区

⇒ 単価契約から総価契約への移行